

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 白石市立東中学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例: 小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒989-0213
宮城県白石市大鷹沢三沢字熊野堂6番地3

E-mail info@shirohigashi-j.shiroishi-c.ed.jp
Website _____

幼児児童生徒数 男子 168名 女子 153名 合計 321名
幼児・児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

- ①通学路清掃活動
- ②サンキューロードプログラム
- ③和食研修会
- ④書き損じはがき集め

(2) 活動の詳細

① 通学路清掃活動

○ねらい

- ・ボランティア精神の高揚
- ・環境問題に対する意識の向上

○期日

- ・平成29年11月10日(金)

○場所

- ・それぞれの生徒が通学している通学路

○内容

- ・自宅から学校まで、歩道に落ちているゴミを拾いながら登校する。

②サンキューロードプログラム

○ねらい

- ・一市民としての自覚を持たせる。
- ・居心地の良い、住みやすい環境づくりについて考えさせる。

○期日

- ・11月～12月

○場所

- ・市道 白石市沖ノ沢から郡山線にかけて

○内容

- ・白石市役所土木課及び環境整備課との連携により、通学区の街路樹の剪定や街路樹周りの除草や清掃を行う。

③和食研修会

○ねらい

- ・ユネスコ無形文化遺産の登録を受け、日本固有の文化、とりわけ食の文化を学ぶ。
- ・自分たちの食生活を振り返り、和食を生かした健康な食生活を考える。

○期日

- ・12月8日(金) 12月11日(月) 12月14日(木) 1月16日(火)

○場所 本校調理室

○内容 和食独特の出汁を使って茶碗蒸しを作る。

④書き損じはがき集め

○ねらい

- ・世界の状況に目を向けさせ、些細な活動が他の地域の発展に貢献している自覚を持たせる。

○期日

- ・平成29年12月～平成30年1月

○場所 本校

○内容 書き損じはがきを集め白石ユネスコ協会の活動に協力する。

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

白石ユネスコ協会からの資料など

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

<p>学年や生徒会の委員会の活動として取り組んだ。本校がこれまで取り組んできた活動を振り返り、より効果的な活動のあり方を模索しながら改善してきた。例えば、ボランティア委員会では、複数の募金活動をしてきたが、中学生でもできる活動を選択しなおし、書き損じはがき集めのように、直接金銭に関わらない活動などを取り入れた。</p>
--

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項 1-4 に対応

ESD やユネスコスクールの活動について教員側の認識が不足しているのが現状であるが、これまでの学校の教育活動を ESD やユネスコスクール活動の色々な分野に関連して位置づけることで、それぞれの教員がそれぞれの活動をユネスコスクール活動と意識して取り組めるように努力している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項 1-5 に対応

それぞれの活動を振り返らせ、感想文などにまとめることで、活動の意義を再認識させてきた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

※チェック事項 2-2 に対応

通学路清掃は、地域の方々の目に触れることになり、中学生の環境改善に取り組む姿が地域の環境に対する意識を高めていると考える。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

地元で長年にわたって活動している白石ユネスコ協会と連携し、和食研修会や書き損じんはがき集めを実施した。また、通学路清掃やサンキューロード清掃では、自治体保有ののぼりや通行制限の機材などを提供していただき実施した。

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

特に活動のための予算がないため、自治体を越えた交流はとても難しい。地元の白石ユネスコ協会での集いで、毎年順番で市内のそれぞれの学校のユネスコスクール活動の活動発表をしている。それぞれの学校の活動を知ることができ、これが他校との交流に位置づけられる。

⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項 2-5 に対応

和食研修会を通して学んだことは、すぐにそれぞれの生徒の家庭でそれぞれの生徒が自主的に実践し、家族にとっても喜ばれたという生徒からの報告が多数あった。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

これまでの活動、通学路清掃活動、サンキューロードプログラムを継続して実施する計画である。また、買い損じはがき集めなど中学生が貢献できる活動をこれからも取り入れていく予定である。